

友和少年野球連盟リーグ戦  
(春季・秋季)

実施要領

参加 8 チーム

平成 25 年 4 月  
友和少年野球連盟



## リーグ戦参加費

1 チーム 4, 000円（開会式当日に納入）

## リーグ戦適用規則

2013年公認野球規則、学童ルールを適用する。

## リーグ戦使用球

学童部公式軟球国際ボールC号

## リーグ戦遵守事項

### A) 参加選手に関する規定

1. 指導者のベンチ入りは代表、監督1名、コーチ5名以内とし、選手と同一のユニフォームを着用すること。但し代表およびコーチの内3名以内は私服可とする。  
(30, 29, 28は必ず背番号を着用すること)
2. ベンチ入り選手は必ずユニフォームを着用すること。
3. ベンチ入り選手は必ず背番号をつけること。番号は他の選手と重複しないこと。
4. 指導者及び選手の金属スパイクの使用は認めない。
5. 投手の変化球投球は認めない。
6. 打者、次打者、ランナー、ランナーコーチはヘルメットを着用すること。
7. 捕手はマスク、プロテクター、レガースを必ず着用する。  
捕手用のヘルメット着用が望ましい。

### B) リーグ戦実施に関する規定

1. 当日雨天等により試合を行なうことが出来ない場合は、主催チーム監督が事務局担当者に連絡し、事務局から相手チームおよび主審予定者に連絡する。
2. 天候等の都合で中止となった試合は日程を変更して行なう。
3. リーグ戦の主審は事務局が作成する審判割当て表に基づき、当該試合担当のチームが責任を持って派遣する。主審決定の流れは以下のとおり。  
※試合日程決定⇒主催チーム監督⇒事務局担当者⇒審判長⇒主審担当チーム

### C) 試合に関する規定

1. 出場チームは試合開始予定時刻の30分前に到着すること。
2. 試合は7イニング、試合時間は1時間40分とし（以内であれば新しいイニングに入ることができる）、7回終了時点で同点の場合、規定時間（1時間40分）以内であれば延長戦を行い、勝敗を決する。規定時間終了時点で同点の場合は引き分けとする。  
コールドゲームは4回終了時点で10点差とする。

3. リーグ戦の順位は以下の優先順位で決定する。
  - ①勝ち数が多いチーム（5勝1敗と4勝2分 ⇒ 5勝1敗のほうが上位）
  - ②負け数が少ないチーム（4勝1敗1分と4勝2分 ⇒ 4勝2分のほうが上位）
  - ③以上で決まらない場合は直接対決で勝利したチームが上位
  - ④以上でも決まらない場合は総得失点差の多いチームが上位
  - ⑤以上でも決まらない場合はリーグ戦開催前の抽選による若番チームが上位※ただし、リーグ戦順位は②までで決定し、③以降は友和連盟からの派遣チーム選出時のみに適用する。
4. 試合中は審判員の判定に従うこと、規則上の疑問点については監督のみ審判員に確認することができる。
5. ピッチャーの投球回数、投球数には特に制限は設けず、監督一任とする。
6. シートノック時を除き、守備交代時の投球練習用キャッチャー及び外野選手の練習相手等グラウンド内は全て選手のみとする。
7. 試合中の言動は少年らしく活発に攻守の交代は駆け足ですること。
8. 応援は相手チームを傷つけたり自チームの品位を落とすことなく良識をもって行なうこと。またメガホンの使用は監督のみとする。

大会の雰囲気にもふさわしくない場合は、審判員はそのチームに注意し、なおかつ改まらない場合は、そのチームの試合を中止することもある。
9. 試合開始後、降雨等の理由により試合続行が不可能になった場合は、4イニング終了時であれば、その時点で勝敗を決し、4イニング未満はノーゲームとする。
10. 試合運営に関することで問題が生じた場合は連盟事務局及び審判部で協議のうえ、決定する。
11. 試合前のシートノックは5分間とし、後攻から行う。
12. ピッチャーの投球練習は初回5球、2回以降は3球とする。

なお、ピッチャー交代時は4球とする。

#### E) その他

1. 出場チーム責任者は各参加選手の父兄の同意を得ること。
2. 大会試合中、万一の負傷などの事故に関して応急措置を施すが、以後の治療については主催者はその責を負わない。
3. 各チームは事前に「スポーツ・レクリエーション参加者障害保険」等に参加の上、参加のこと。
4. 開会式は勿論、閉会式においても原則全チーム参加とする。